

オンラインシステム NACSIS-CAT ニュースレター

学術情報センター〔〒112-8640 東京都文京区大塚3-29-1〕

目録情報課

図書目録情報係	TEL:03(3942)6983, 6984	FAX:03(3944)7131
雑誌目録情報係	TEL:03(3942)6985, 6986	FAX: 同上
相互協力係	TEL:03(3942)6987, 6988	FAX: 同上
共同利用課	TEL:03(3942)6933, 6934	FAX:03(3942)6797
システム管理課	TEL:043(285)4914, 4915	FAX:043(290)1380

目 次

1. 目録所在情報サービスの運用時間の延長・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. Webcat本運用の開始とシステム改善・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 新CAT/ILLシステム Q&A(2)・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4. 学術雑誌総合目録欧文編1998年版の編集状況・・・・・・・・ 5
5. 日仏会館遡及入力 of 完了・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6. 複写データ処理センター業務報告(平成9年度下半期)・・・・・・・・ 7
7. コーディングマニュアル付録5, 付録6の刊行・・・・・・・・ 8
8. レコード調整・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

(付) コーディングマニュアル

本誌は、次のホームページの目録担当者のページでも公開しています(p.8参照)。

<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>

目録所在情報サービスの運用時間の延長

オンラインシステムニュース等で既にお知らせしているように、かねてより参加館から要望されていた、目録所在情報サービスの運用時間の延長を、平成 10 年 6 月 1 日(月)から実施しました。実施後のサービス時間帯は、以下のようにになりました(教育用システムのサービス時間帯は、従来通り変更はありません)。新 CAT/ILL システムも、同じ時間延長を行っています。

曜日	実施前	実施後
月～水、金	9:00～18:00	9:00～20:00
木	9:00～18:00 (第4木曜のみ 9:00～12:00)	変更なし

今回の延長は、(1)データベースのサーバ移行による時差更新処理の廃止、(2)データベースバックアップ処理時間の短縮、(3)学術雑誌総合目録データの一括更新処理や配置コードの変換処理の運用時間変更など、サービス時間外に行うシステム保守管理作業の運用改善により可能となったものです。木曜日については、データベースのバックアップや書誌データのメンテナンスを行いますので、従来通りのサービス時間帯とします。

今回の運用時間の延長により、時間延長に関するアンケートにおいて延長を要望された大学図書館のうち、約 8 割の図書館の御要望を満たすこととなります。これにより各参加図書館での柔軟な運用が可能になると思っておりますので、御利用くださるようお願いいたします。

(システム管理課)

Webcat 本運用の開始とシステム改善

総合目録データベースの WWW 検索サービスである Webcat の本運用を、平成 10 年 4 月から開始しました。平成 9 年 4 月から Webcat の試行サービスを行っていましたが、既存サービスへの影響、システムの安定性などを見極めた結果、今回本運用を開始することとしました。

多くの研究者、図書館職員に利用していただくことにより、基盤的な事業として実施している総合目録データベースの作成事業及びその成果である総合目録データベースそのものを広く知っていただくとともに、インターネットを通じて、国内外の広範な研究者等に学術情報センターの事業活動に関する理解を深めていただけるものと期待しています。

また今回、利用者の方々から要望の多かった、(1)所蔵データの全件表示、(2)所蔵件数の表示などの若干の改善をしました。今後とも、Webcat を活用くださるようお願いいたします。

(図書目録情報係)

新 CAT/ILL システム Q&A(2)

今回は、平成 9 年度に行った新 CAT/ILL 説明会開催時とその後いただいた御質問を中心に紹介します。なお、新 CAT/ILL システム関係の最新情報については、下記の新目録所在情報システムホームページも御覧ください。

<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/INFO/newcat/index.html>

Q1：なぜ現行システムを止めるのでしょうか？

A1：将来的に、メーカーによる現行システムのサポートが保証されないためです。これ以上の接続端末数の増加に、現行システムが対応できないことも、理由の一つです。現在、汎用機で多く使われている通信方式の N1 や VTSS プロトコルも、センターでは段階的に廃止する計画です。

Q2：移行できないユーザは利用できなくなるのですか？

A2：学術情報センターでは、平成 16 年までに全てのユーザに新 CAT/ILL システムに完全移行していただきたいと考えています。そのためにも、早めに広報を行い、移行への御協力をお願いしています。

Q3：新システムを利用するための手続きはどうなっていますか？

A3：上記ホームページ中の「業務サーバの利用について」に従い、利用予定年月日、利用予定端末台数、連絡担当者などを利用開始前にお知らせください。

Q4：利用者 ID は、現行システムと同じものですか？

A4：現行システムと同じ利用者 ID で利用が可能です。更に必要であれば、従来通りの「目録所在情報サービス担当者登録申請書」により追加申請の手続きを取ってください。

Q5：研修は再度受ける必要がありますか？

A5：新システムに対応した講習会では、総合目録の基本的考え方やデータの構造や内容、データの入力基準などを習得するのが目的となります。これは、従来の講習会で行ってきたものと同じですので、再度講習会を受ける必要はありません。

新システムでのクライアントの操作方法については、各メーカークライアントのマニュアルなどを参照していただくことになります。

Q6：導入のための経費はどのくらいかかるのですか？

A6：システム構成や機器によって異なるので一概にはいえませんが、パソコン中心の構成がとれるので、汎用機や UNIX に比べると導入経費を低くすることができます。

Q7: 最低限どのような機器が必要となりますか?

A7: パソコンとインターネット接続機器 (LAN, LAN カード, 10BASE-T ケーブルなど), 新システム対応ソフト (クライアント) が最低限必要となります。

Q8: インターネット接続のパソコンがあるだけでよいのでしょうか? Macintosh でも可能でしょうか?

A8: 新システム利用のためには, 各メーカーが開発したクライアントソフトが必要です。よって, 機器構成については, 各メーカー毎に異なることとなります。現在の開発状況を調査した結果では, Windows95/NT か UNIX での開発となっています。Macintosh での利用については, メーカー側との相談が必要です。

Q9: ローカルシステムも新システム対応に改造しなくてはならないのですか?

A9: 新 CAT/ILL システム対応クライアントを利用することになった場合, 図書館システム側とのデータ交換を行う「つなぎ」の部分の改造が必要になると思います。これも, 開発メーカーが対応を考えなくてはならないものですので, 各図書館システムメーカーに確認する必要があります。

Q10: 通信経費は現行システムに比べて増えないですか?

A10: 通常の業務であれば, 通信データ量は少なくなるはずですが。現行システムの仮想画面単位のデータ量に比べると, レコード単位という少量の通信となるためです。

インターネットですから, 通信量の増減は料金に影響しませんし, ホームページなどの画像のやり取りに比べると通信量は格段に少ないので, 通信経費の問題はないと思います。

Q11: 学術情報センター開発のクライアントは利用できますか?

A11: 平成 10 年夏には公開する予定です。ただし, 講習会やデモでの利用を想定して開発しており, 図書館システムとのデータ交換を行うための機能は備えていないので, 実業務で利用できるとは限りません。

ただ, 学術情報センターのクライアントは JAVA の Applet で動作しますので, 誰でも利用することができます。これをシステム開発の参考にしてください。ソースの配布は, 現在のところ考えていません。

Q12: 現時点で接続するなら, 新システムでなくてはならないのですか?

A12: 平成 16 年には, 現行システムによるサービスを廃止する予定です。それまでの間に, 新システムへの切り替えを計画するのであれば, 当面は現行システムという選択もあります。新システムの導入を前向きに検討して下さるようお願いいたします。

(図書目録情報係)

学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版の編集状況

平成 9 年 11 月 1 日から平成 10 年 3 月 31 日までを調査期間として、学術雑誌総合目録欧文編の全国調査を行いました。この調査に御協力いただいた参加館の皆様には、あらためてお礼申し上げます。現在、お送りいただいたデータをもとに入力作業を行っている状況です。

1. オンライン入力について

調査期間は終了しましたが、オンラインでの書誌・所蔵データの 입력は引き続き行っていただいで結構です。入力に当たっては、以下の点に注意してください。

学術雑誌総合目録欧文編 1998 年版は、平成 10 年 9 月時点のデータをもとに作成する予定です。8 月末までに 입력されたデータは、本版に反映されます。

確認作業の都合上、書誌データや変遷データに関する情報源コピーは、早めに送付してください。

センター側の編集作業完了の連絡があるまでは、各参加館で書誌を「削除予定レコード」に修正しないでください。これについては、「オンライン・システムニュースレター No.60」を参照してください。作業完了の連絡は、オンラインシステムのニュース画面等で行います。

磁気テープ等で所蔵データを報告した参加館へは、センターからデータロード完了の通知をしますので、通知が届いてから、入力作業を開始してください。

2. データ提出状況・参加状況

(1) 入力件数

全国調査開始から、平成 10 年 5 月までにデータベースに 입력されたレコード件数を以下の表に示します。この件数には、オンラインで直接 입력された件数だけでなく、磁気媒体等でお送りいただいたデータをロードした件数も含んでいます。また、修正件数は、修正回数
の延べ件数であり、純レコード数ではありません。

		1997/11	1997/12	1998/ 1	1998/ 2	1998/ 3	1998/ 4	1998/ 5	合計
書誌	新規	272	433	540	685	1,028	798	754	4,510
	修正	3,540	1,907	1,945	2,239	2,834	2,383	3,063	17,911
所蔵	新規	8,640	10,468	14,468	27,623	59,086	148,960	89,403	358,648
	修正	30,553	40,517	53,862	55,193	99,505	58,362	27,655	365,647
	削除	3,320	2,921	3,444	15,825	36,390	124,012	76,539	262,451

(2) 参加機関数

今回の調査には 863 機関、1,259 館(室)から参加いただいでいます(平成 10 年 5 月 29 日現在)。前回の欧文編 1994 年版に比べて、機関数で約 30%増加しています。

参加館数一覧表：提出方法別（複数回答）

提出方法		機関別数	参加組織数
書誌	所蔵		
オンライン	オンライン	462	656
オンライン	磁気媒体	36	114
CD-ROM	CD-ROM	236	264
データシート	データシート	213	266

3.今後の予定

(1) データ整備

書誌レコードの編集整備を進める上で、各参加館に対して書誌レコードの確認調査をお願いする場合があります。センターから情報源コピー等の依頼がありましたら、御協力くださるようお願いいたします。

(2) 窓口調査

最新の情報を本版に反映させるため、各参加館のサービス窓口に関する調査を行います。実施時期は、平成 10 年 8 月から 9 月を予定していますので、調査の際は御協力くださるようお願いいたします。

(雑誌目録情報係)

日仏会館遡及入力完了

総合目録データベースの遡及入力支援事業の一環として、平成 7 年度から実施してきた日仏会館のフランス語資料の遡及入力が、平成 9 年度末をもって完了しました。

今回の遡及入力により、日仏会館が所蔵する図書のうち約 3 万 4 千冊のデータが入力されたこととなります。そのうちの約 60%にあたる約 1 万 9 千件は、新規書誌レコードとして登録されました。これは、現在総合目録データベースに登録されているフランス語資料の約 10%にあたります。上記の新規書誌レコード中、参照ファイルからの流用入力が 13%、RECON ファイルからの流用入力が 5%、残りは NC からの流用入力となっています。また年代的には、学術情報センター設立以前にあたる 1980 年代より前に出版された図書が、約 80%を占める結果となりました。

今後の遡及入力支援事業としては、平成 10 年度に遡及分を含めたドイツ MARC の導入を計画しています。本センターとしては、今後とも様々な形での遡及入力支援を図ってゆく予定です。

日仏会館が作成した書誌レコードに関するレコード調整の連絡は、学術情報センターで行います。CRTFA（レコード作成館の参加組織コード）が「FA011463」のレコードについては、目録情報課図書目録情報係まで御連絡ください。またその際には、日仏会館関係のレコード調整である旨、書き添えるようお願いいたします。

(図書目録情報係)

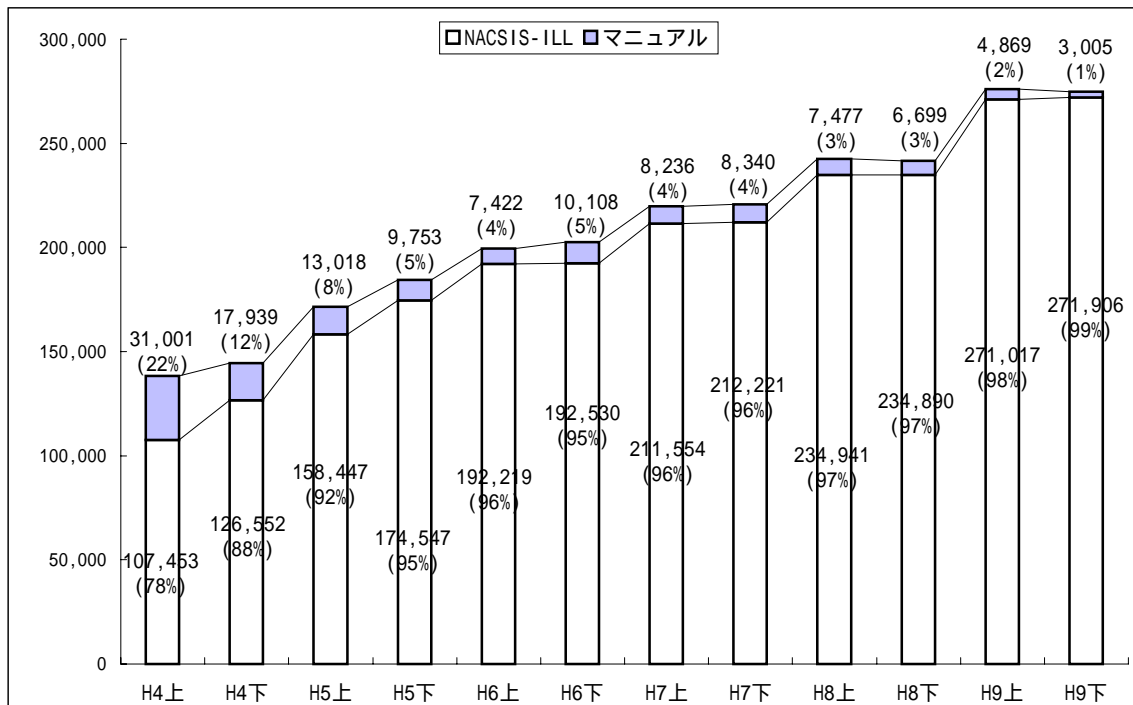
複写データ処理センター業務報告（平成9年度下半期）

「国立大学等図書館間相互における文献複写業務の改善について」（文学情第317号 昭和53年12月19日）及びその実施要項に基づき、文献複写経費のデータ処理を平成10年4月に行いました。処理件数を次に示します。

単位：件

平成9年度下半期		マニュアル（依頼書）	NACSIS-ILL	合計
		3,005	271,906	274,911
内訳	大学	1,073	268,065	269,138
	短期大学	52	507	559
	高等専門学校	1,880	3,334	5,214

以下に示す処理件数の推移の通り、初めて高等専門学校での NACSIS-ILL の処理件数がマニュアル処理件数を上回ったこともあって、前回の処理よりも更にマニュアル処理の比率が下がっています。今後とも NACSIS-ILL システムの普及に努めますので、皆様の御協力をお願いいたします。



処理件数の推移

(相互協力係)

コーディングマニュアル付録 5,付録 6 の刊行

今回は、「付録 5 レコード項目一覧」及び「付録 6 入力データ記述文法」を刊行します。

従来、レコード項目一覧と入力データ記述文法は、「目録情報の基準」に掲載していました。しかしこれらは、「目録情報の基準」に比べて頻繁に変更するものであるため、「目録情報の基準」第 3 版の刊行（平成 9 年 12 月）を機に、コーディングマニュアルに付録として掲載することとしました。

また今回は、前回刊行したコーディングマニュアル累積版（平成 10 年 3 月刊行）の各章についても、付録 5 と 6 をもとに記述文法等の見直しを図るとともに、最近のシステムの改善などを反映して改訂を行った部分も含んでいます。

（図書目録情報係）

目録所在情報サービスホームページ

<http://www.cat.op.nacsis.ac.jp/>

